

学校課題 (O子ども、→学校)

- ◇学校課題
- ・自ら取り組む  
自分で考え、判断し、行動する子
- ・達成感・成就感  
自ら学び、わかる喜びをあげよう子
- ・生命の尊重・尊厳  
自他を思いやり、行動する子
- ・ふるさと  
岐阜市や方県に興味をもち、愛する子
- ・小規模校の課題の改善  
固定化、多様性のなさの打破
- ※職員の組織的な動き → 協働性を高める
- ※地域との連携 → 150周年事業での協働①

市の方針と重点

- <基本方針>
- 家庭・地域との協働を基盤に『共に支え合い、個のよさや可能性を広げる教育』をめざして
- <願う子どもの姿>
- 自分や仲間の個性や能力を理解し、共に高め合い、自らの可能性を広げる児童生徒
- <目標>
- ・校長のリーダーシップのもと、教職員や家庭・地域コミュニティとの協働による積極的な攻めの学校経営
- ・児童生徒の個性や能力の理解を組織的にに行い、一人ひとりの将来に生きる力を育てる指導
- ・教師としての資質能力を高めるために学び続け、高い専門性と指導力、感受性を身に付ける研修

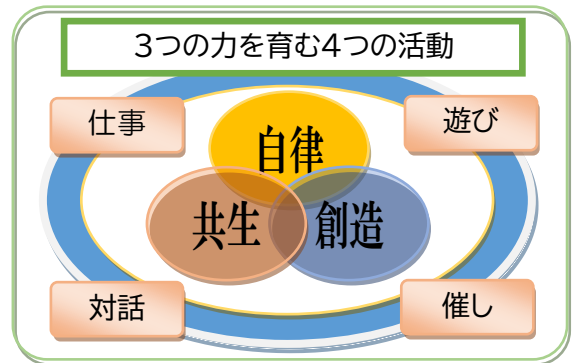
〔学校の教育目標〕 自ら学び、心豊かでたくましい方県の子

◆学校教育目標を具現する3つの力と4つの活動

3つの力	めざす子ども・職員の姿
自律	・ 自分で思考・判断し、行動できる。 ・ 自分で計画を立て、行動できる。
共生	・ 多様性を認め尊重し、誰一人取り残さないよう他者と共によりよく生きる。
創造	・ 常識にとらわれない発想や工夫で、新たな価値を生み出す。(Critical Thinking)

<子ども>  
教わり上手から  
学び上手へ

<職員>  
教え上手から  
学ばせ上手へ



◆自律・共生・創造を育む6つの重点 (仕事・催し・遊び・対話のバランスよい活動の展開)

教育活動の重点		教育環境の重点	
仕事	<p>①個別最適な学び ~学び合い・自由進度学習~</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書・ICT等の教材を活用して自分で学ぶ。</li> <li>・わからないところは、仲間に聞く。</li> <li>・聞かれたら、誰一人取り残さないよう一緒に考える。</li> <li>・学び方や教材等を選択・判断し学びを進める。</li> </ul>	④教育DXの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別最適化の学びでの活用 (Edtech教材の活用)</li> <li>・オンライン学習の実践</li> <li>・ICT機器を文具として活用</li> </ul>
対話	<p>②異年齢の学び~方県なかよしスクール(仮称)~</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの違いを認め、誰一人取り残さない学びや遊びを創造する。</li> </ul> <p>③自発的な遊び・学びの充実(自治活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自発的な遊び・学びを通して、資質・能力を育てる。(「幼児期の終わりまで育ててほしい姿」から「未来社会を生きるために育ててほしい姿」への転換)</li> <li>・失敗から発見し修正して歩み続ける。(探究する力)</li> </ul>	⑤教育評価・教育相談・いじめ対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の成長に大きな可能性を感じる評価</li> <li>・学習者・保護者の心のケア</li> <li>・いじめの早期解決</li> </ul>
催し	<p>④フレースタイルプロジェクト等</p>	⑥未来教育プロジェクト(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方県小・網代小・三輪北小との合同学園構想</li> <li>・教科担任制の導入</li> <li>・多様な人格に触れる機会</li> </ul>
対話			
遊び			

学びの当事者を育む

違いを認め幸せを創造

デジタル化で生活を好転

安心・安全を確保

全職員で育てる

社会を創る

◆地域全体で子どもを育てるために

学校を含む地域全体で子どもたちを育てるコミュニティ・スクールの充実 <令和5年度の挑戦!>

1. 学校運営協議会
  - ・地域ぐるみで教育を推進する仕組みづくり
2. 地域との連携
  - ・いつまでも方県地区の記憶に残る創立150周年記念事業の開催
  - ・方県地域による学習支援・特別支援サポーターの開設
  - ・学校給食に方県地区の食材を導入(ふるさと教育推進)

学校運営協議会 ~学校評価の活用~

- 第1回 学校経営の全体構想を検討
- 第2回 中間報告会を開催し、達成度と今後の方向を議論する。
- 第3回 学校評価の結果をもとに、学校経営について見直し、来年度の方向を検討。